



7月 誕生会



…短冊に願いを!七夕飾り…

施設サービス課 沖 美由紀

6月4日に近畿・九州北部・中国地方は、平年より2日早く 昨年より18日遅く 梅雨入りしました。赤・青・紫色の紫陽花が見事に咲いているのを見かけます。花の色は育った土と水で決まります。特に土の状態(酸度)により変化します。色のベースになるのは「アントシアニン」という色素で、通常は赤色。処が土壌から溶け出してきたアルミニウムと反応すると青色に変化をします。従ってアルミニウムをたくさん吸収した紫陽花は青色、しなかったものは赤色、その中間が紫色になります。アルミニウムが溶け出す量は、水の酸性度によってきまり、酸性だとよく溶けて 中間～アルカリ性だとあまり溶けません。土が吸収した水が酸性だと＝青、中性で＝紫色、アルカリ性＝赤色になります。時々見かける「赤紫」に近い紫陽花は、もう年を取ってしまった紫陽花で「白」の紫陽花は元々アントシアニンを持っていないため色が変わらない紫陽花となっています。日本でよく見かける紫陽花は赤や紫が圧倒的に多いのは、火山大國であるため酸性土壌が圧倒的に多いからです。

七夕は 昔 中国から日本に伝わった星祭り。鷲座のアルタイルと呼ばれる牽牛星(彦星)は農業の仕事、琴座のベガと呼ばれる織女(織姫)は裁縫の仕事を司る星。此の2つの星は 旧暦7月7日に天の川を挟んで 最も輝いているため、この日を一年で一度の巡り合いの日と考え“七夕ストーリー”が生まれました。6日(日)に7月の誕生会を開催し、誕生者は以下の4名です。

大迫 妙子さま 大正14年生 101歳
米澤 貞子さま 昭和5年生 96歳

池田 つるゑさま 昭和5年生 96歳
大村 園子さま 昭和8年生 93歳

